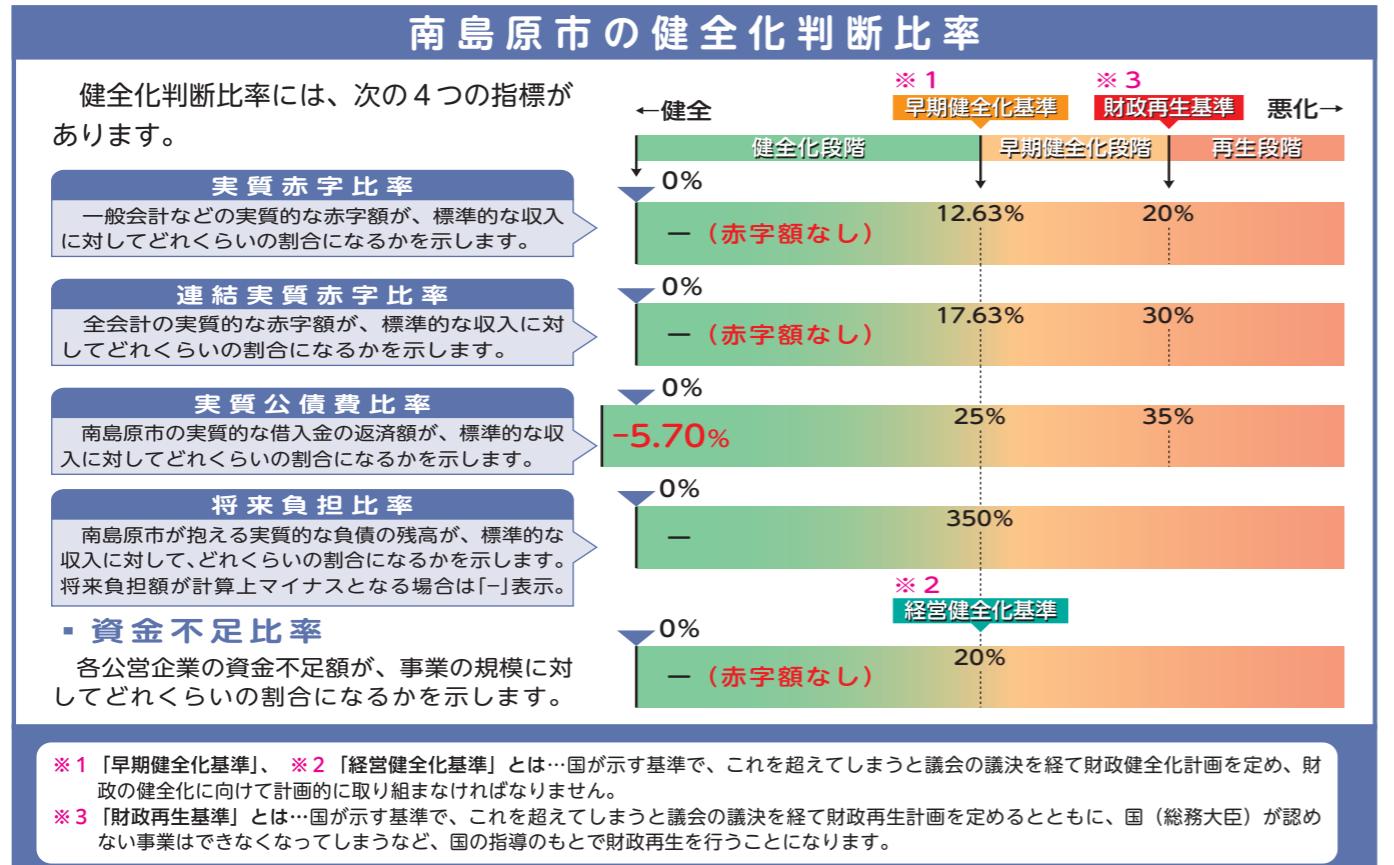




## 健全化判断比率などの状況(令和6年度決算)

財政悪化がすすむ県や市町村の財政破たん(倒産)を未然に防ぐため、財政健全化法において、毎年度決算の際に財政の早期健全化や再生の必要性を判断するために、財政状況を客観的に表し、監査委員の審査を受け議会に報告し、公表しています。

南島原市の数値は、昨年と同様、いずれも国の定める基準を下回っており、健全な財政運営を行っていることを示していますが、各比率が悪化して国の基準を超えないよう、これからも「行政改革大綱」や「集中改革プラン」に基づき、行財政改革を推進していきます。



令和6年度

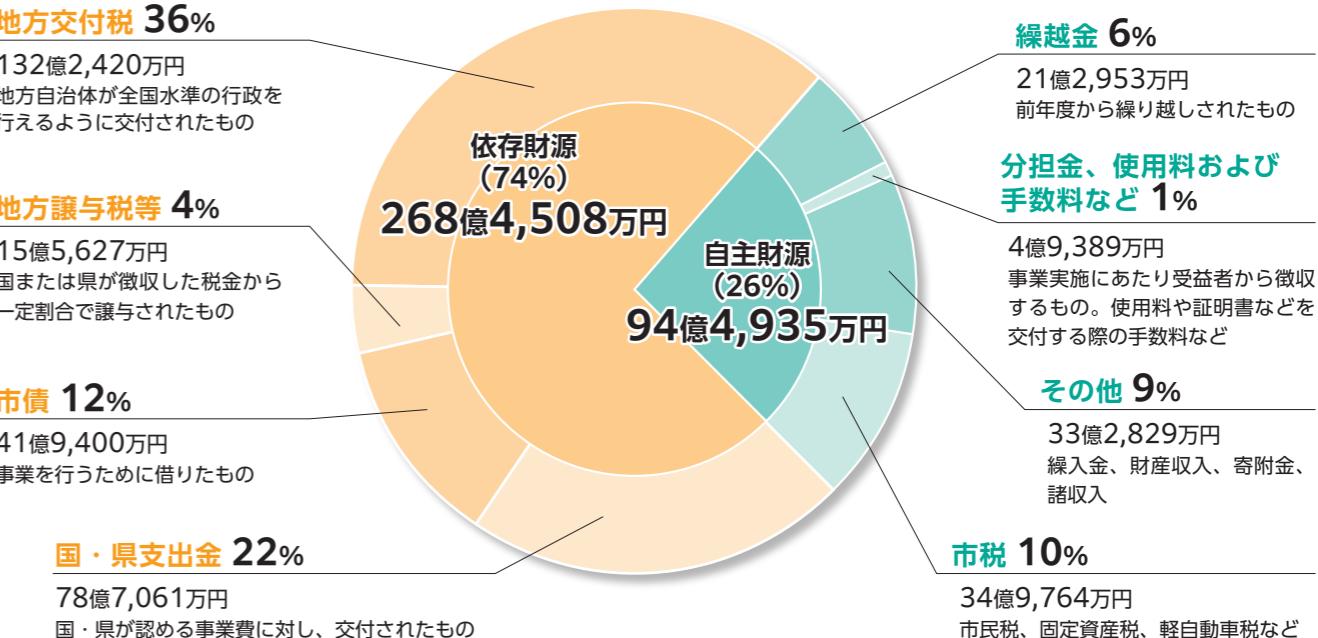
# 決算の状況

圖 財政課(西有家庁舎) 73-6625

令和6年4月1日から令和7年3月31までの1年間の歳入、歳出の状況をお知らせします。

皆さんが納めた税金や国・県からの補助金などは、南島原市の生活環境をより良くするためにさまざまな形で使われています。

歳入総額 362億9,443万円



### 【令和6年度 決算速報値】県内13市財政状況比較表

順位	標準財政規模		財政力指数		経常収支比率		実質公債費比率		将来負担比率		地方債現在高			積立金現在高		
	市名	百万円	市名	%	市名	%	市名	%	市名	%	市名	百万円	対標財%	市名	百万円	対標財%
1	長崎市	102,172	諫早市	0.63	南島原市	86.5	南島原市	-5.7	南島原市	-	南島原市	20,455	118.6	大村市	47,154	203.6
2	佐世保市	61,231	大村市	0.63	西海市	90.3	西海市	1.7	佐世保市	-	雲仙市	19,730	119.9	西海市	17,569	143.6
3	諫早市	36,202	長崎市	0.57	雲仙市	90.6	雲仙市	4.0	島原市	-	諫早市	47,443	131.1	雲仙市	20,057	121.9
4	大村市	23,155	佐世保市	0.53	対馬市	91.3	平戸市	5.3	諫早市	-	西海市	18,243	149.1	平戸市	13,798	105.4
5	南島原市	17,253	松浦市	0.51	平戸市	92.8	佐世保市	5.7	大村市	-	佐世保市	95,480	155.9	南島原市	18,137	105.1
6	対馬市	17,069	島原市	0.42	松浦市	93.7	島原市	5.9	平戸市	-	大村市	38,886	167.9	松浦市	9,050	97.6
7	五島市	16,696	西海市	0.29	五島市	93.8	諫早市	6.6	五島市	-	島原市	20,956	169.2	五島市	15,946	95.5
8	雲仙市	16,449	雲仙市	0.28	島原市	95.0	壱岐市	8.3	西海市	-	松浦市	16,875	182.0	対馬市	14,690	86.1
9	平戸市	13,087	南島原市	0.25	佐世保市	95.8	大村市	8.5	雲仙市	-	壱岐市	22,940	182.8	壱岐市	9,362	74.6
10	壱岐市	12,549	平戸市	0.24	壱岐市	97.9	五島市	8.6	壱岐市	22.0	平戸市	24,494	187.2	島原市	7,123	57.5
11	島原市	12,384	五島市	0.24	諫早市	98.1	対馬市	9.5	対馬市	27.9	五島市	33,065	198.0	諫早市	18,444	50.9
12	西海市	12,234	壱岐市	0.22	長崎市	98.8	松浦市	10.1	松浦市	29.3	対馬市	39,374	230.7	長崎市	42,355	41.5
13	松浦市	9,270	対馬市	0.20	大村市	99.4	長崎市	10.4	長崎市	91.6	長崎市	255,972	250.5	佐世保市	23,092	37.7
財政指標等の国県平均値		県13市平均	0.39	県13市平均	95.8	県13市平均	7.1	県13市平均	0.8	県13市平均	187.0	県13市平均	73.4			
		県平均	0.39	県平均	95.0	県平均	7.0	県平均	-	県平均	184.4	県平均	74.9			
		全国平均(R5)	0.48	全国平均(R5)	93.1	全国平均(R5)	5.6	全国平均(R5)	6.3	全国平均(R5)	171.1	全国平均(R5)	57.2			

■標準財政規模…地方公共団体が通常の状態で経常的に収入が見込まれる一般財源の総額。■財政力指数…地方公共団体の財政力を示す指標。この数値が大きいほど財政的に余裕があるといえます。■経常収支比率…人件費などのように経常的に支出する経費に、地方税などの経常的な財源収入が、どの程度充てられているかを示す比率。指数が小さいほど財政的に柔軟性がある状態です。■実質公債費比率、将来負担比率…上記の「健全化判断比率などの状況」で解説しています。※将来負担比率について、標準財政規模に対する将来負担額が計算上マイナスとなる場合は「-」と表示しています。■地方債現在高…地方公共団体が事業を行なうために借りた借金の残額。■積立金現在高…地方公共団体が将来必要となる財源に充てるための貯蓄の残額。■対標財…標準財政規模に対する割合。

歳入歳出差引額 17億2,372万円

※この内、繰越事業の財源3億4,995万円を除いた額13億7,377万円が実質収支額となります。

歳出総額 345億7,071万円

